

<点検>(評価内容)一覧

「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価計画作成検討会」より

令和5年度 自己点検・自己評価

評価基準 : ・よく当てはまる:3 ・大体当てはまる:2 ・当てはまらない:1

		令和4年度			令和5年度				
I	教育理念・教育目的	担当	評価点	評価	改善点・対策	担当	評価点	評価	改善点・対策
1-1	教育理念・教育目的は、自業成所の教育上の特徴を示している。		3	・教育理念や教育目的の目標は、学生便覧や校内ホームページに掲載されている。また、各教室にも掲示して学生への浸透を図っている。	・教育内容・教育方法を載せた授業計画(書式)の統一し、令和5年度 履修要項に反映させる。		3	・教育理念や教育目的の目標は、学生便覧や授業案内、ホームページ、各教室にも掲示して学生への浸透を図っている。また、新校舎より新入生に対しては入学期のみに掲示している。	・教育理念、教育目的が学生の学習指針となっているが、令和5年度末に完成したDP-ルック評価表を用いて、学生自身が自己評価し、学習状況を把握し、前進できるように活用していき、DP-ルック評価表の活用方針を学生、教員に周知し、今後活用していく。
1-2	教育理念・教育目的は法との整合性がある。		3	・教育内容・教育方法を載せた授業計画(書式)の統一し、令和5年度 履修要項に反映させる。	・令和2年度の学生便覧に「DP」。「本校のめざす看護師像」を載せる。		3	・母体病院以外の医療機関や施設に1年生が学生に対する評価を依頼し、教育上、学校教育法、教育基本法、指導要領の条件に沿って運営している。	
2-1	教育理念・教育目的は、学生にとって学習の指針となるように具体的に示している。		3	・教育内容・教育方法を載せた授業計画(書式)の統一し、令和5年度 履修要項に反映させる。	・令和2年度の学生便覧に「DP」。「本校のめざす看護師像」を載せる。		3	・今年度より、DPを定めた1年生の学習指針となっているが不明である。	
2-2	教育理念・教育目的は実際に学生の学習の指針になっている。	玉利	3	・教育内容・教育方法を載せた授業計画(書式)の統一し、令和5年度 履修要項に反映させる。	・教育環境として、教員については学生便覧に連携機構として載せており、教育方法については履修要項に載せている。	中 原	2	・教育内容・教育方法についてはカリキュラム改正によりシラバスの書き換え、授業計画、単元のわがひ、授業形態などを授業概要として具体的に示している。	
3-1	教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育内容をとるのかを述べている。	大 川	3	・教育環境として、教員については学生便覧に連携機構として載せており、教育方法については履修要項に載せている。	・卒業時点においてもつべき資質として、学生便覧の履修要項に「本校のめざす看護師像」を載せている。令和4年度からのDPを載せる予定である。	川 畑	3	・看護、看護学教育、学生観については「卒業時点においてもつべき資質」として、学生便覧の履修要項に「本校のめざす看護師像」を載せている。	
3-2	教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育環境をとるのかを述べている。	中 原	3	・看護、看護学教育、学生観については「卒業時点においてもつべき資質」として、学生便覧の履修要項に「本校のめざす看護師像」を載せている。	・看護の質保障の必要性については、母体病院に求めた卒業生の評価をもとに評価している。	新 地	3	・看護、看護学教育、学生観については「卒業時点においてもつべき資質」として、学生便覧の履修要項に「本校のめざす看護師像」を載せている。	
3-3	教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育環境をとるのかを述べている。		3	・看護の質保障の必要性については、母体病院に求めた卒業生の評価をもとに評価している。			3	・卒業時点においてもつべき資質として、学生便覧の履修要項に「本校のめざす看護師像」を載せている。	
4-1	教育理念・教育目的は、看護、看護学教育、学生観について明示している。		3	・看護の質保障の必要性については、母体病院に求めた卒業生の評価をもとに評価している。			3	・卒業時点においてもつべき資質として、学生便覧の履修要項に「本校のめざす看護師像」を載せている。	
4-2	看護、看護学教育、学生観は実際に教師の教育活動の指針となっている。		3	・看護の質保障の必要性については、母体病院に求めた卒業生の評価をもとに評価している。			3	・卒業時点においてもつべき資質として、学生便覧の履修要項に「本校のめざす看護師像」を載せている。	
5-1	教育理念・教育目的は、養成する看護師等が卒業時点においてもつべき資質を明示している。		3	・看護の質保障の必要性については、母体病院に求めた卒業生の評価をもとに評価している。			3	・卒業時点においてもつべき資質として、学生便覧の履修要項に「本校のめざす看護師像」を載せている。	
6-2	卒業時点においてもつべき資質は、社会に対する看護の質を保障するのに妥当なものとなっている。		3	・看護の質保障の必要性については、母体病院に求めた卒業生の評価をもとに評価している。			3	・卒業時点においてもつべき資質として、学生便覧の履修要項に「本校のめざす看護師像」を載せている。	
		令和4年度			令和5年度				
II	教育目標	担当	評価点	評価	改善点・対策	担当	評価点	評価	改善点・対策
1	教育目標は、教育理念・教育目的の一貫性がある。		3				3	・教育目標は、教育理念・教育目的の一貫性としており、教育内容は卒業生の到達目標に明示されている。また、教育目標、教育目的との整合性やDPや目指す看護師像をもとにカリキュラムツリーで科目の関連性も確認している。	・卒業後の状況については母体病院に働く卒業生の状況を把握しているが不明確である。また、限定された卒業生の評価となっている。そのため、卒業後の活躍状況についてアンケートを導入し、卒業生の状況を把握することが必要。
2-1	教育目標は、設定した教育内容を網羅している。	玉利	3	・教育目標は、教育理念・教育目的の到達目標に明示されている。また、教育目標、教育目的との整合性やDPや目指す看護師像をもとにカリキュラムツリーで科目の関連性も確認している。	・教育目標とDPの整合性については、到達目標に明示されている。また、限定された卒業生の評価となっている。そのため、卒業後の活躍状況についてアンケートを導入し、卒業生の状況を把握することが必要。	中 原	3	・教育目標は、教育理念・教育目的の一貫性としており、教育内容は卒業生の到達目標に明示されている。また、教育目標、教育目的との整合性やDPや目指す看護師像をもとにカリキュラムツリーで科目の関連性も確認している。	
2-2	教育目標は、最上位の目標として、教育活動のゴールが読みとれるものとなっている。	大 川	3	・教育目標は、教育理念・教育目的の到達目標に明示されている。また、教育目標、教育目的との整合性やDPや目指す看護師像をもとにカリキュラムツリーで科目の関連性も確認している。	・教育目標とDPの整合性については、到達目標に明示されている。また、限定された卒業生の評価となっている。そのため、卒業後の活躍状況についてアンケートを導入し、卒業生の状況を把握することが必要。	川 畑	2	・教育目標は、教育理念・教育目的の一貫性としており、教育内容は卒業生の到達目標に明示されている。また、教育目標、教育目的との整合性やDPや目指す看護師像をもとにカリキュラムツリーで科目の関連性も確認している。	
3-1	教育目標は、目標内容と到達レベルが対応している。	中 原	3	・教育目標は、教育理念・教育目的の到達目標に明示されている。また、教育目標、教育目的との整合性やDPや目指す看護師像をもとにカリキュラムツリーで科目の関連性も確認している。	・教育目標とDPの整合性については、到達目標に明示されている。また、限定された卒業生の評価となっている。そのため、卒業後の活躍状況についてアンケートを導入し、卒業生の状況を把握することが必要。	新 地	3	・教育目標は、教育理念・教育目的の一貫性としており、教育内容は卒業生の到達目標に明示されている。また、教育目標、教育目的との整合性やDPや目指す看護師像をもとにカリキュラムツリーで科目の関連性も確認している。	
3-2	教育目標は、具体的で実現可能なものとなっている。		3	・教育目標は、教育理念・教育目的の到達目標に明示されている。また、教育目標、教育目的との整合性やDPや目指す看護師像をもとにカリキュラムツリーで科目の関連性も確認している。	・教育目標とDPの整合性については、到達目標に明示されている。また、限定された卒業生の評価となっている。そのため、卒業後の活躍状況についてアンケートを導入し、卒業生の状況を把握することが必要。		3	・教育目標は、教育理念・教育目的の一貫性としており、教育内容は卒業生の到達目標に明示されている。また、教育目標、教育目的との整合性やDPや目指す看護師像をもとにカリキュラムツリーで科目の関連性も確認している。	
4	看護実践者としての能力を育成する側面と、学習者としての成長を促すための側面から教育目標を設定している。		3	・教育目標は、教育理念・教育目的の到達目標に明示されている。また、教育目標、教育目的との整合性やDPや目指す看護師像をもとにカリキュラムツリーで科目の関連性も確認している。	・教育目標とDPの整合性については、到達目標に明示されている。また、限定された卒業生の評価となっている。そのため、卒業後の活躍状況についてアンケートを導入し、卒業生の状況を把握することが必要。		3	・教育目標は、教育理念・教育目的の一貫性としており、教育内容は卒業生の到達目標に明示されている。また、教育目標、教育目的との整合性やDPや目指す看護師像をもとにカリキュラムツリーで科目の関連性も確認している。	
5	卒業後の継続教育の考え方を示した上で、教育目標を設定している。		3	・教育目標は、教育理念・教育目的の到達目標に明示されている。また、教育目標、教育目的との整合性やDPや目指す看護師像をもとにカリキュラムツリーで科目の関連性も確認している。	・教育目標とDPの整合性については、到達目標に明示されている。また、限定された卒業生の評価となっている。そのため、卒業後の活躍状況についてアンケートを導入し、卒業生の状況を把握することが必要。		2	・教育目標は、教育理念・教育目的の一貫性としており、教育内容は卒業生の到達目標に明示されている。また、教育目標、教育目的との整合性やDPや目指す看護師像をもとにカリキュラムツリーで科目の関連性も確認している。	
		令和4年度			令和5年度				
III	教育課程経緯	担当	評価点	評価	改善点・対策	担当	評価点	評価	改善点・対策
<教育課程経営者の活動>									
1-1	教育課程編成者と教職員全体は、教育課程と授業実践、教育評価との関連性を明確に理解している。		3				3	・今年度、カリキュラム評価計画を作成し、共通理解できている。	・ディプロマツリーの達成にむけて科目の配列が意図的に計画されているが、卒業生に確認してもらうことも、学生便覧にカリキュラムツリー図を追加する。
1-2	教育課程編成者と教職員全体は、教育理念・教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っている。		3				3	・新カリキュラムの運用にあたって共通理解の一貫した教育活動を行っている。	・評価結果の活用における倫理規定を明確にする。
<教育課程経営者の活動>									
1-1	看護学の内容について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している。		3				3	・科目の単元については、重複を避けなお関連性をもたせて構成した。その考え方や内容は履修要項に載せている。	
1-2	学修の到達について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している。		3				3	・構成した科目は看護師等養成所の運営に関する指導方針(ガイドライン)に則って構成している。	
1-3	学生の成長について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している。		3				3	・医師等の附属看護学校と生活から、地域住民の健康と生活を支援できるよ科目立てしている。	
<科目、単元構成>									
1-1	明確な考え方と根拠をもって科目を構成している。		3				3	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	
1-2	明確な考え方と根拠をもって単元を構成している。		3				3	・構成した科目は看護師等養成所の運営に関する指導方針(ガイドライン)に則って構成している。	
1-3	科目と単元の構成の考え方は教育理念・目的、教育目標と整合性がある。		3				3	・医師等の附属看護学校と生活から、地域住民の健康と生活を支援できるよ科目立てしている。	
2-1	構成した科目は看護師等を養成するのに妥当である		3				3	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	
2-2	構成した科目は養成所の特徴をあらわしている。		3				3	・構成した科目は看護師等養成所の運営に関する指導方針(ガイドライン)に則って構成している。	
<教育計画>									
1-1	単位履修の方法とその制約について教師・学生の双方がわかるように明示している。		3				3	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	
1-2	単位履修の方法は学生の単位履修を支援するものとなっている。		3				3	・構成した科目は看護師等養成所の運営に関する指導方針(ガイドライン)に則って構成している。	
2	単位履修制の考え方を踏まえつつ、看護師等に必要な学修を維持できるように、科目の配列をいする。		3				3	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	
<教育課程評価の体系>									
1-1	単位認定の基準は看護師等に必要な学修を認めるものとして妥当である。		3				3	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	
1-2	単位認定の方法は看護師等に必要な学修を認めるものとして妥当である。		3				3	・構成した科目は看護師等養成所の運営に関する指導方針(ガイドライン)に則って構成している。	
2	他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えている。		3				3	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	
3-1	教育課程を評価する体系を整えている。		3				3	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	
3-2	評価結果の活用における倫理規定を明確にしている。		2				2	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	
<教員の教育・研究活動の充実>									
1-1	教員が専門性を発揮できるように、教員の担当科目と時間数を配分している。		3				3	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	
1-2	教員が授業準備のための時間をとれる体制を整えている。		3				3	・構成した科目は看護師等養成所の運営に関する指導方針(ガイドライン)に則って構成している。	
2-1	教育課程の実践者である教員が自ら成長できるよう、自己研鑽のシステムを整えている。		3				3	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	
2-2	教員が相互に成長できるよう、相互研鑽のシステムを整えている。		3				3	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	
<学生の看護実践体験の保障>									
1-1	臨床実習施設は、養成所の個別の教育理念・教育目的、教育目標を理解している。		3				3	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	
1-2	臨床実習施設は学生の看護実践の学習を支援する体制を整えている。		3				3	・構成した科目は看護師等養成所の運営に関する指導方針(ガイドライン)に則って構成している。	
2-1	臨床実習指導における学生の学びを保障するために、臨床実習指導者の役割を明確にしている。		3				3	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	
2-2	臨床実習指導における学生の学びを保障するために、教員の役割を明確にしている。		3				3	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	
2-3	臨床実習指導者と教員の協働体制を整えている。		3				3	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	
3-1	学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示している。		3				3	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	
3-2	対象者の権利を尊重する考え方に基づいて、学生への指導を計画的に行っている。		3				3	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	
4-1	臨床実習において学生が関係する事故を把握、分析している。		3				3	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	
4-2	学生に対する安全教育、安全対策を計画的に行っている。		3				3	・単位履修については、学生便覧や履修要項に明示している。	

		令和4年度			令和5年度				
IV	教授・学習・評価連携	担当	評価点	評価	改善点・対策	担当	評価点	評価	改善点・対策
	<授業内容と教育過程との一貫性><看護学としての妥当性><授業内容間の関連と発展>								
1	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されている。		3	新カリキュラムを構築する中で、教育内容を見直し、教育目標との整合性や重複内容を順序性等を整理することができた。評価項目にある「発展性」に関する情報はあっても、具体的に示していない。	教育目的・目標に近づけるために、1年次から3年次まで何をどう発展させていくかを教員間で検討し、明確にすることが課題である。		3	新カリキュラムの教育内容構築が具体的に進み、昨年同様課題であった発展性についても協議し、具体的になりつつある。また旧カリキュラムについても積極的に新カリキュラムに準ずる内容となるよう見直しを進めている。	教育目的・目標に近づけるためのディプロマポリシー・ルーブリックが完成し、1年次からの積み上げや発展性が明確になった。運用が開始されているため次年度の評価が必要である。
2-1	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べている。		3				3		
2-2	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性をもっている。		3				3		
3	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性がある。		3				3		
4	授業内容間の重複や整合性、発展性等が明確になっている。		2				2		
	<授業の展開過程>								
1	授業形態(講義、演習、実験、実習)は、授業内容に応じて選択している。		3				3		
2	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践している。		3				3		
3	授業の展開過程の他に、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援している。		2				2		
4	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしている。		3				3		
	<目標達成の評価とフィードバック>								
1-1	評価計画を立案し、実施している。		2				2		
1-2	評価結果に基づいて、実際に授業を改善している。		2				2		
2-1	学生および教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れている。		2				2		
2-2	教育目標の達成状況を多面的に把握している。		2				2		
3-1	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表している。		3				3		
3-2	単位認定の評価には公平性が保たれている。		3				3		
	<学習への動機づけと支援>								
1-1	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一貫性がある。		2				2		
1-2	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっている。		2				2		

		令和4年度			令和5年度				
V	経営・管理連携	担当	評価点	評価	改善点・対策	担当	評価点	評価	改善点・対策
	<設置者の意思・指針>								
1-1	養成所の管理者は教育理念・教育目的についての考え方を明示している。		3				3		
1-2	養成所の管理者は教育課程経路についての考え方を明示している。		3				3		
1-3	養成所の管理者は教育評価についての考え方を明示している。		3				2		
1-4	養成所の管理者は養成所の管理運営等についての考え方を明示している。		3				3		
1-5	明示した管理者の考えと、設置者の意思とは一貫性がある。		3				3		
1-6	教職員は養成所の設置者と管理者の考え方を理解している。		3				3		
	<組織体制>								
1-1	養成所の組織体制は、教育理念・目的を達成するための権限や役割機能が明確になっている。		3				3		
1-2	意思決定システムが明確になっている。		3				2		
1-3	意思決定システムは、組織構成員の意思を反映できるように整えられている。		3				2		
1-4	意思決定システムは、決定事項が周知できるように整えられている。		3				3		
2-1	組織の構成と教職員の任用の考え方や、教育理念・教育目的達成との整合性がある。		3				2		
2-2	教職員の資質の向上についての考え方や対策には教育理念・教育目的達成との整合性がある。		3				2		
	<財政基盤>								
1-1	財政基盤を確保することについての考え方が明確である。		3				3		
1-2	財政基盤を確保することについての考え方は、学習・教育の質の維持・向上につながっている。		3				3		
2-1	教職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解している。		3				3		
2-2	教職員のそれぞれの観点からの財政についての意見は、経営・管理過程に反映できるようにになっている。		3				3		
	<施設設備の整備>								
1-1	学習・教育環境の整備について、管理者の考え方を明示している。		3				3		
1-2	管理者の考えに基づいて整備計画を立案し、実施している。		3				3		
2-1	看護の専門職教育に必要な施設設備を計画的に整備している。		3				3		
2-2	医療・看護の発展や学生層の変化に合わせて、施設設備を整備・改善している。		3				3		
3-1	養成所が設置されている地域環境との関連から学生および教職員にとっての福利厚生施設設備の整備を検討している。		3				3		
3-2	学生が学生生活を円滑に送り、教職員が職務を円滑に遂行できるように施設設備を整備している。		3				3		
	<学生生活の支援>								
1-1	学生が入学後に学修を継続できる支援体制を多角的に整えている。		3				3		
1-2	学生が活用しやすいように学生生活の支援体制を整えている。		3				3		
1-3	支援体制は、実際に学生に活用され、学修の継続を助けている。		3				3		

	<養成所に関する情報提供>								
1-1	教育・学習活動に関する情報提供を関係者(保護者等)に行っている。	2	・入学ORで保護者へのORも行って、各委員室でない。成績表発送は第1保証人へ行って情報提供している。また、単位に関する学生に聞いては本人の了承のもと、保護者へ委任状への情報提供を行っている。Instagramは保護者の閲覧があるかは不明。 ・コロナ禍にない前年度と同様のオープンキャンパスを開催した。夜間開催も計画したが、参加者がコロナ感染により実現しなかった。 ・赤い羽根賞金や阿久根市の題字を通して学生の活動を広報してもらう機会を作った。また、Instagramや学校内外のSNSを通じて、150校、九州内の学校、出水・阿久根地区のスーパー、施設などを行った。	・保護者に対しては日々の活動はInstagramで報告している。また、新入生のオリエンテーション時にInstagramの紹介をする。学習困難者に対しては継続して情報提供を行っている。 ・Instagramはにまめにフォローを行い、取り返す必要がある。学生の投稿以外にも学校からお知らせなどを投稿する。ホームページにも学生の様子などを載せるなど適宜(年1〜2〜3回)更新していく。 ・阿久根市役所との繋がりを保持し、施設外活動を通して地域住民との交流の機会を創出する。	・入学ORで保護者へのORも行って、各委員室でない。成績表発送は第1保証人へ行って情報提供している。また、単位に関する学生に聞いては本人の了承のもと、保護者へ委任状への情報提供を行っている。Instagramは保護者の閲覧があるかは不明。 ・コロナ禍にない前年度と同様のオープンキャンパスを開催した。夜間開催も計画したが、参加者がコロナ感染により実現しなかった。 ・赤い羽根賞金や阿久根市の題字を通して学生の活動を広報してもらう機会を作った。また、Instagramや学校内外のSNSを通じて、150校、九州内の学校、出水・阿久根地区のスーパー、施設などを行った。	・入学ORで保護者へのORも行って、各委員室でない。成績表発送は第1保証人へ行って情報提供している。また、単位に関する学生に聞いては本人の了承のもと、保護者へ委任状への情報提供を行っている。Instagramは保護者の閲覧があるかは不明。 ・コロナ禍にない前年度と同様のオープンキャンパスを開催した。夜間開催も計画したが、参加者がコロナ感染により実現しなかった。 ・赤い羽根賞金や阿久根市の題字を通して学生の活動を広報してもらう機会を作った。また、Instagramや学校内外のSNSを通じて、150校、九州内の学校、出水・阿久根地区のスーパー、施設などを行った。	・学校活動についてInstagramで情報提供の機会がいろいろある。Instagramの紹介とホームページにもInstagramの案内を提供する。学習困難者に対しては継続して情報提供を行う。 ・Instagramはにまめにフォローを行い、取り返す必要がある。学生の投稿以外にも学校からお知らせなどを投稿する。ホームページにも学生の様子などを載せるなど適宜(年1〜2〜3回)更新していく。 ・阿久根市役所との繋がりを保持し、施設外活動を通して地域住民との交流の機会を創出する。		
2-1	看護師等を養成する機関としての存在を、十分にアピールする広報活動を適切に行っている。	3							
2-2	広報の内容は、社会的説明責任を果たすものになっている。	3							
	<養成所の運営計画と将来構想>								
1-1	養成所は明確な将来構想のもとに、運営の中・長期計画、短期計画、年間計画を立案している。	3	・第5次カリキュラム改正を見据えて中長期計画に反映している。						
1-2	その実施・評価は将来構想との整合性をもっている。	3	・年度はじめに前年度の評価と当該年度の計画について共有している。前年度の計画に基づき、修正・追加がなされている。						
	<自己点検・自己評価体制>								
1-1	自己点検・自己評価の意味と目的を理解している。	3	・自己評価委員会を中心に、委員会全職員が参加しており、目的や評価方法を定めている。 ・評価は「評価の考え方」点検表を参考に、毎年度末に実施している。結果は、講師会議や第3者評価委員会でも公表し、意見を踏まえカリキュラム運営や授業実践に活用している。また、ホームページでも公表している。改正された内容で教育活動を振り返っている。デフォルトのルーブリック評価を含めて、継続して自己点検・自己評価を行っている。	・令和5年度の新カリキュラム実施後は、改正された内容で教育活動を行っていく。継続して自己点検・自己評価を行っている。	・自己評価委員会を中心に、委員会全職員が参加しており、目的や評価方法を定めている。 ・評価は「評価の考え方」点検表を参考に、毎年度末に実施している。結果は、講師会議や第3者評価委員会でも公表し、意見を踏まえカリキュラム運営や授業実践に活用している。また、ホームページでも公表している。改正された内容で教育活動を振り返っている。デフォルトのルーブリック評価を含めて、継続して自己点検・自己評価を行っている。	・自己点検・自己評価の結果をもとに、教育活動の維持・改善につなげていく。			
1-2	実際に自己点検・自己評価を行うための知識と方法を明確にしている。	3							
2-1	自己点検・自己評価体制を整え、運用している。	3							
2-2	自己点検・自己評価は、養成所のカリキュラム運営、授業実践にフィードバックするように機能している。	3							
2-3	自己点検・自己評価体制は、養成所の教育理念・教育目的、教育目標の維持・改善につながるよう機能している。	3							

令和4年度

令和5年度

VI	入学	担当	評価点	評価	改善点・対策	担当	評価点	評価	改善点・対策
1	教育理念・教育目的の一貫性をもって入学選抜についての方針を述べている。	梶	3	・入学選抜基準は学校管理マニュアル内の入学試験判定基準に準拠してあり、詳細な目的が決められている。しかし、前年度課題であった入学選抜についての妥当性の分析が行っていない。令和4年度入学者のうち名が選抜された。入学選抜の妥当性と教育効果の観点から分析・検証する必要がある。	・入学選抜方法は妥当性と教育効果の観点から分析・検証する。	梶	3	・入学選抜基準は学校管理マニュアル内の入学試験判定基準に準拠してあり、詳細な目的が決められている。しかし、前年度課題であった入学選抜についての妥当性の分析が行っていない。令和4年度入学者のうち名が選抜された。入学選抜の妥当性と教育効果の観点から分析・検証する必要がある。	・入学選抜方法の妥当性とドミナントポリシーの視点から分析・検証する。
2	入学者状況、入学者の権利について、入学選抜方法の妥当性及び教育効果の観点から分析・検証している。	梶	2			梶	2		

令和4年度

令和5年度

VII	卒業・就業・進学	担当	評価点	評価	改善点・対策	担当	評価点	評価	改善点・対策
1	卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、計画的に行っている。								
2-1	卒業時の到達状況を分析している。	大	3	・卒業時の到達状況は卒業時技術評価を用いて行っている。そのうち、技術的側面については分析の上でカリキュラム検討の材料として活用した。	・卒業生の活動状況の系統的情報収集ができており、活用が困難なことから、把握方法や情報の管理方法のシステム化について検討を行い、分析や活用に向けていく必要がある。	大	3	・卒業時の到達状況は卒業時技術評価を用いて行っている。そのうち、技術的側面については分析の上でカリキュラム検討し、DPのルーブリック作成に繋げている。今後ルーブリック運用を随時評価修正することが必要となる。	・卒業生の活動状況の統計的情報収集ができていない状況が続いている。同窓会や既卒のTEAMSやメールシステムなどの活用も視野に入れながら、把握方法や情報の管理方法のシステム化について検討し、分析や活用に向けていく必要がある。
2-2	卒業生の就業・進学状況を分析している。	大	3			大	3		
2-3	卒業生の到達状況、就業・進学状況についての分析結果は、教育理念・教育目標との整合性がある。	大	3			大	3		
3-1	卒業生の就業先での評価を把握し、問題を明確にしている。	大	2	・卒業後の調査や情報交換は母体病院や医師会内医療機関など一部に限られている。卒業生との連絡が容易ではない。得られる情報が断片的であり、分析が難しく、教育活動に反映できていない。		大	2	・卒業後の調査や情報交換は母体病院や医師会内医療機関など一部に限られている。卒業生との連絡が容易ではない。得られる情報が断片的であり、分析が難しく、教育活動に反映できていない。	
3-2	卒業生の就業先での情報交換や調査の実地等ができる体制を整えている。	大	2			大	2		
4-1	卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理している。	大	1			大	1		
4-2	卒業生の活動状況の分析結果を、教育理念・教育目的、教育目標、授業の展開に活用している。	大	1			大	1		

令和4年度

令和5年度

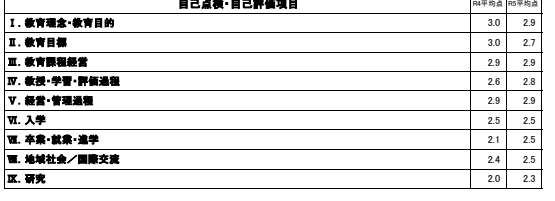
VIII	地域社会/国際交流	担当	評価点	評価	改善点・対策	担当	評価点	評価	改善点・対策
<地域社会>									
1-1	社会との連携に向けて、地域のニーズを把握している。	玉	3	・今年度は、地域交流の地に社会福祉協議会や阿久根市の協力を得て、ボランティア活動を実施し、地域貢献や地域活動への参加ができた。さらに第5次カリキュラム改正の中で「地域・在宅看護論」の授業で地域のニーズや健康課題を知り看護の分野でアプローチする方法を学ぶ予定である。	・今後も社協や阿久根市と連携を行い、地域交流を計画している。	玉	3	阿久根市や阿久根市社会福祉協議会も協力のもと、保健事業の統制や教室・介護実習の事業のいききサロンに参加をさせてもらい、ボランティア活動を行なっている。地域の人の生活を知り、ニーズを把握することが始まった。また、この活動から得た内容を地域・在宅看護論方法論1の授業の教材としている。今後は健康支援講座でも地域の健康課題を扱い、健康教育が企画できるような授業構成を考えている。	地域での活動を行う対象が、高齢者に偏っていることから、対象を拡大していくことが課題である。
1-2	看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的にしている。	玉	2			玉	2		
2-1	養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段をもっている。	玉	3			玉	3		
2-2	養成所から地域社会へ情報を発信する手段をもっている。	玉	3			玉	3		
3-1	養成所が設置されている地域の特徴を把握している。	玉	3			玉	3		
3-2	地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れている。	玉	3			玉	3		
<国際交流>									
1	国際的視野を広げるための授業科目を設定している。	中	3	・講師と協力しコロナ対策のもと外国人との交流や授業ができた。 ・英語の講師から借用している外国の衣類や世界地図、資料の提供、海外環境を整えている。 ・海外からの学生の受け入れ体制は、整っていない。 ・現在海外や留学生を希望している学生は少ない。	・国際交流や世界について触れ合う機会が必要であり、授業や教科外活動での工夫が必要である。 ・学生に留学等を希望していることができるように体制の整備が必要である。 ・海外の姉妹校を検討する。	中	3	阿久根市や阿久根市社会福祉協議会も協力のもと、保健事業の統制や教室・介護実習の事業のいききサロンに参加をさせてもらい、ボランティア活動を行なっている。地域の人の生活を知り、ニーズを把握することが始まった。また、この活動から得た内容を地域・在宅看護論方法論1の授業の教材としている。今後は健康支援講座でも地域の健康課題を扱い、健康教育が企画できるような授業構成を考えている。	地域での活動を行う対象が、高齢者に偏っていることから、対象を拡大していくことが課題である。
2	国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えている。	中	2			中	2		
3	海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制を整えている。	中	1			中	1		
4	留学や海外において看護職に就くこと等を希望する学生に対応できる体制を整えている。	中	1			中	1		

令和4年度

令和5年度

IX	研究	担当	評価点	評価	改善点・対策	担当	評価点	評価	改善点・対策
1	教員の研究活動を保障(時間的、財政的、環境的)している。	大	2	・今年度は厚労省の教員養成支援策によるランニング全員の教員が科目選択の上履修した。 ・新カリキュラム準備や検討に時間多量を割いたこともあり、研究発表率はなかった。 ・研究に関する助言などの体制は整っていない。研究への価値づけがどうあるかはまだ定まらずに済んでいる状況である。	・研究の視点はあるため、教育活動と研究活動を両立でききよくな時間・人員の配分が必要である。	大	2	・令和5年度入学生より新カリキュラムとなった。教育効果の裏取りを行い、アクティブラーニングを導入し始めている。 ・今年度卒業計画の一つであった研究発表は2名の教員が研究発表を行った。背景には教員が名増えたことや教員相互に支援し合う体制ができてきたことによる。	・研究発表を全員が実施できるより、計画的に進めることが必要である。
2	教員の研究活動を助言・検討する体制を整えている。	大	3			大	3		
3	研究に価値をおき、研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地が養成所内にある。	大	2			大	2		

自己点検・自己評価の項目別平均点(令和2年度・令和3年度)



令和5年度 自己点検・自己評価結果



令和4、5年度 自己点検・自己評価

